

2026年度

大学院入学試験要項

秋季入学者選抜試験

商 学 研 究 科 (修士課程・博士課程)

経 済 学 研 究 科 (修士課程・博士課程)

国 際 学 研 究 科 (修士課程・博士課程)

法 学 研 究 科 (修士課程・博士課程)

コンピュータサイエンス研究科 (修士課程)



大阪学院大学

建学の精神

本学は、教育と学術の研究を通じ、広く一般社会に貢献し、且つ人類の福祉と平和に寄与する視野の広い実践的な人材の育成を目的とする。

大阪学院大学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。

修士課程は、広い視野に立って清深な学識を授け、専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことを目的とする。

博士課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

各研究科では、それぞれが掲げる教育目的達成のため、次のように「入学者受入れの方針」を定めています。なお、各研究科が定める教育目標、学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針はホームページに掲載しています。志望研究科の内容を十分に理解したうえ、出願してください。



入学者受入れの方針

【商学研究科】

本学の「建学の精神」を深く理解するとともに、本研究科の定める教育課程を誠実に履修し、諸課題に真摯に取り組む強い意思と基礎的学力を有する者を求める。また、専門分野の深い学識を活かし、ビジネス社会の絶えざる変革・発展に貢献する意欲溢れる者を求める。

修士課程の入学者選抜においては、公平性、開放性および多様性を旨とし、ビジネス経験豊かな社会人をはじめ、幅広く受け入れる。また、本課程への正規入学を強く希望し、かつ日本語での研究能力を有する外国人について、留学生として積極的に受け入れる。

博士課程の入学者選抜においては、主として修士課程における専門分野の学識と語学運用能力を備えた者を広く受け入れる。また、本課程への正規入学を強く希望し、かつ日本語での高度な研究能力を有する外国人について、留学生として積極的に受け入れる。

【経済学研究科】

本学の「建学の精神」ならびに本研究科の「人材の養成・教育研究上の目的」を含む教学上の方針を理解するとともに、研究課題に対して真摯に取り組む意欲とそのため求められる基礎学力を有し、専門分野の学識を広く社会に還元する意志のある者を求める。

修士課程の入学者選抜は、多様性に配慮し、広く門戸を開きつつ、これを公平に行う。また、外国人については、日本語での研究能力を有する者を受け入れる。

博士課程の入学者選抜は、主として修士課程における専門分野の学識とそのために必要な外国語能力を備えた者を対象とする。また、外国人については修士号を授与され、日本語での研究能力を有する者を受け入れる。

【国際学研究科】

本学の「建学の精神」を深く理解するとともに、本研究科の定める教育課程を誠実に履修し、諸課題に真摯に取り組む強い意思と基礎的学力を持ち、国際問題への鋭い洞察力と豊かな感受性、多文化への深い理解と寛容さ、バランスのとれた調整能力、課題解決に向けた具体的な提言能力を高めることを志向する者を求める。

修士課程の入学者選抜においては、公平性、開放性および多様性を旨とし、社会人をはじめ、幅広く受け入れる。また、本課程への正規入学を強く希望し、かつ日本語での研究能力を有する外国人について、留学生として積極的に受け入れる。

博士課程の入学者選抜においては、主として修士課程における専門分野の学識と語学運用能力を備えた者を広く受け入れる。また、本課程への正規入学を強く希望し、かつ日本語での高度な研究能力を有する外国人について、留学生として積極的に受け入れる。

【法学研究科】

本学の「建学の精神」を深く理解するとともに、本研究科の定める教育課程を誠実に履修し、諸課題に真摯に取り組む強い意思と基礎的学力を持ち、自らの法務能力と学識を高めることを通じて、企業や自治体の発展に貢献しようと志す者を求める。

修士課程の入学者選抜においては、公平性、開放性および多様性を旨とし、社会人をはじめ、幅広く受け入れる。また、本課程への正規入学を強く希望し、かつ日本語での研究能力を有する外国人について、留学生として積極的に受け入れる。

博士課程の入学者選抜においては、主として修士課程における専門分野の学識と語学運用能力を備えた者を広く受け入れる。社会人については、法曹の有資格者をはじめ、法務職業人としての実績を考慮する。また、本課程への正規入学を強く希望し、かつ日本語での高度な研究能力を有する外国人について、留学生として積極的に受け入れる。

【コンピュータサイエンス研究科】

本研究科では、豊かな情報化社会を築くために、コンピュータサイエンスの専門的技術者として、産業界への貢献を志す者を求める。

入学者選抜においては、公平性、開放性および多様性を旨とし、情報技術系学部出身者のみならず、コンピュータサイエンスに関する基礎知識を有する者を国内外から広く受け入れる。

個人情報の取り扱いについて

1. 利用目的

出願および入学手続きにあたってご記入いただいた個人情報は、入学試験実施、合否発表、入学手続きとこれらに付随する業務で利用します。

2. 取り扱い方針

(1) ご記入いただいた個人情報は厳重に取り扱います。また、上記「利用目的」以外にはいっさい利用しません。

(2) ご記入いただいた個人情報の取り扱いを外部に委託する場合があります。その場合、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、適切な管理を実施させます。

入試日程

＜修士課程＞

研究科	試験日	出願期間※1	合格発表日※2	入学手続締切日※3
商学	2026年6月7日(日)	2026年5月14日(木)	2026年6月12日(金)	[1次締切]
経済学		∩		2026年6月24日(水)
国際学				[2次締切]
法学		2026年5月27日(水)		2026年8月24日(月)
コンピュータサイエンス				

＜博士課程＞

研究科	試験日	出願期間※1	合格発表日※2	入学手続締切日※3
商学	2026年6月7日(日)	2026年5月14日(木)	2026年6月12日(金)	[1次締切]
経済学		∩		2026年6月24日(水)
国際学				[2次締切]
法学		2026年5月27日(水)		2026年8月24日(月)

(注)※1. 出願期間最終日の消印有効です。

※2. 合格発表は郵送にて通知します。来学・電話などによる可否の照会にはいっさい応じません。

※3. [1次締切]入学金の納付。

[2次締切]入学金を除く学費等の納付および入学手続書類の提出。

募集人員

募集人員等

課程	研究科	専攻	募集人員	選 抜 方 法		
				一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生
修士	商 学	商 学	若干名	○	○	○
	経 済 学	経 済 学		○	○	○
	国 際 学	国 際 学		○	○	○
	法 学	企業・自治体法務		○	○	○
	コンピュータサイエンス	コンピュータサイエンス		○	—	○
博士	商 学	商 学	若干名	○	—	○
	経 済 学	経 済 学		○	○	○
	国 際 学	国 際 学		○	—	○
	法 学	企業・自治体法務		○	○	○

(注) 1. 「募集人員」は、秋季入学の人員を示す。

2. ○印は、入学試験の実施を示す。

1. 出願資格

(1) 一般選抜

- ① 大学を卒業した者、または2026年9月卒業見込みの者。
 - ② 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者。
 - ③ その他本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。
(出願資格の認定審査を希望する者は、出願期間開始日の4週間前までに大学院教務事務室へ申し出てください。)
- 以上のいずれかに該当する者。

(2) 社会人特別選抜

研究科	出 願 資 格
商 学 経 済 学 国 際 学 法 学	上記の一般選抜の出願資格①②のいずれかに該当し、かつ出願時まで2年以上の社会人経験(企業や官公庁等での勤務または自営)を有する者

(3) 外国人留学生

外国人で、次のいずれかに該当し、入学に際して「出入国管理および難民認定法」に定める「留学」の在留資格を取得または更新できる者。

- ① 外国において、通常課程による16年の学校教育を修了または修了見込みであること。
- ② 日本において、外国人留学生として大学を卒業または卒業見込みであること。

(注) 大学院の授業は原則として日本語で行われますので、留学生には大学院の授業を理解できる高度な日本語能力が求められます。それを示す資料として、出願時に次のいずれかの日本語試験結果を提出してください。提出された試験の成績は選考の対象となります。

- ア. 日本語能力試験(N1):「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」
- イ. 日本留学試験(日本語):「日本留学試験成績に関する証明書」

2. 出願上の注意

- (1) 出願書類は本大学院所定の出願用封筒に入れて、**書留速達で郵送**(出願期間最終日の消印有効)するか、または大学院教務事務室に持参してください。
- (2) 提出された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。なお、出願後の変更は一切認めません。
- (3) 出願後に住所・電話番号等を変更した場合は、速やかに大学院教務事務室に連絡してください。

3. 入学検定料

35,000円

- (1) 入学検定料は、すべて**銀行振込(電信扱)**にしてください(郵便普通為替証書、現金による納付は認めません)。
※ATM(現金自動預入払出機)での振り込みはできません。
- (2) 振込用紙は、志願票・入学検定料振込依頼書・入学検定料振込領収書が一枚綴りになっているので、所定事項を記入し、切り離さずに入学検定料を添えて銀行窓口へ提示してください。
- (3) 振り込み後、志願票(取扱銀行収納印のないものは無効)を出願書類とともに郵送してください。
なお、入学検定料振込領収書(取扱銀行収納印のないものは無効)は各自で保管してください。
- (4) 既納の入学検定料は、返還しません。

4. 出願書類

必要事項は全て黒ボールペンで、出願者本人が自筆により記入してください。

No.	出願書類	必要の有無			注意事項
		一般 選抜	社会人 特別選抜	外国人 留学生	
1	入学志願書	○	○	○	<p>本大学院所定用紙。</p> <p>① 専修・専攻志望科目欄は、「5. 専修・専攻科目および担当教員」を参照の上、志望研究科で専修または専攻しようとする学科目を選定し記入すること(担当教員が複数の学科目については、第2・第3志望の担当教員も記入すること。なお、入学時に指導体制を勘案し、指導教員を変更する場合があります)。</p> <p>② 指導教員欄には専修・専攻志望科目欄に記入した科目の担当教員のみを記入すること。第2・第3志望欄に別の科目の担当教員を記入しないこと。異なる科目の担当教員を記入した場合、第1志望の担当教員についてのみ有効とする。</p> <p>③ 経済学研究科および法学研究科志望者のうち一般選抜を受験する者は、「経済学研究科 一般選抜論文試験受験科目(申請)」、「法学研究科 一般選抜論文試験受験科目(申請)」欄に記載の試験科目から、受験する1科目を選択し、申請すること。受験科目の申請がない出願書類は受理できない。なお、<u>出願時に申請した受験科目は変更できない</u>。</p> <p>④ 写真(注3.参照)を枠内に貼付すること。</p>
2	志願書	○	○	○	<p>本大学院所定用紙。</p> <p>志願票に写真(注3.参照)を枠内に貼付すること。</p>
3	各種証明書	○	○	○	<p>出願前3か月以内に発行されたもの。</p> <p>① 大学を卒業した者は、成績証明書および卒業証明書。</p> <p>② 大学を卒業見込みの者は、成績・卒業見込証明書。</p> <p>③ 修士を修了した者は、①と修士の成績証明書および学位授与証明書。</p> <p>④ 修士を修了見込みの者は、①と修士の成績・学位取得見込証明書。</p> <p>⑤ 出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書もあわせて提出。</p> <p>⑥ 証明書に記載されている氏名が、婚姻等により現在の氏名と異なる場合は、同一人物であることを証明する公的書類(戸籍抄本等)を添付すること。</p>
4	志望理由書	○	—	○	<p>本大学院所定用紙(記入は出願者の自筆に限る)。</p>
5	研究計画書	—	○	○	<p>本大学院所定用紙(記入は出願者の自筆に限る)。(外国人留学生は日本語または英語で書かれたもの)</p> <p>① 記入内容が3ページ以上にわたる場合は、所定用紙の裏面を必要分コピーして記入すること。</p> <p>② 経済学研究科を志望する者は、「1. 志望動機・学習意欲」「2. 経歴」「3. 学習目的・学習計画」を項目別に必ず記載すること。</p> <p>③ 担当教員が複数の学科目については、第1志望の指導教員を記入すること。</p>

No.	出願書類	必要の有無			注意事項
		一般 選抜	社会人 特別選抜	外国人 留学生	
6	語学試験の結果	—	—	○	次のいずれかの日本語試験の結果を提出。 ① 日本語能力試験(N1) 「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」 ② 日本留学試験(日本語) 「日本留学試験成績に関する証明書」
7	推薦書	—	—	△	最終出身学校において指導を受けた教員またはこれに代わる推薦者による推薦書で、原則として日本語または英語で書かれたもの。
8	履歴書	—	—	○	本大学院所定用紙(記入は出願者の自筆に限る)。
9	パスポート および 在留カードのコピー	—	—	○	パスポートは、本人に関する記載事項のすべての欄、来日歴のある者は日本への出入国歴が記載されている箇所のコピーを提出。 在留カードは、表裏両面のコピーを提出。
10	奨学金の 証明書類	—	—	○	国費またはそれに準ずる奨学金の受給が決定している者は、証明書のコピー(該当者のみ)。

- (注) 1. 「必要の有無」欄の○は必ず提出するものを示し、△は任意提出資料を示す。
 2. 「健康診断書」を提出する必要はないが、場合により提出を求めることがある。
 3. 写真: 上半身正面脱帽、背景なし、縦4 cm・横3 cm、出願前3 か月以内に撮影したものとし、裏面に氏名を記入すること。

5. 専修・専攻科目および担当教員

修士課程では、研究指導が可能な次の学科目のうちから、専修もしくは専攻科目を選定しなければなりません。各研究科における専修・専攻科目は以下のとおりです。

また、履修規程、シラバス等については、本学ホームページ (<https://www.ogu.ac.jp/graduateschool/>) を参照してください。

研究科	区分	専修科目	担当教員
商学	商学・ 経営学	*マーケティング論研究Ⅰ・Ⅱ	杉本 徹雄 藤澤 武史
		経営学研究Ⅰ・Ⅱ	太田 雅晴
		人的資源論研究Ⅰ・Ⅱ	テイラー雅子
	会計学	簿記原理研究Ⅰ・Ⅱ	辻 峰男
		財務諸表論研究Ⅰ・Ⅱ	大下 勇二
		管理会計論研究Ⅰ・Ⅱ	山本 浩二

(注) 担当教員が複数の学科目(*)については、「入学志願書」に研究指導を希望する教員名を希望順に記入すること。

研究科	区分	専修科目	担当教員
経済学	基幹	ミクロ経済理論研究A・B	宇佐美竜一
		マクロ経済理論研究A・B	荒井 信幸
		計量経済学研究A・B	塩谷 雅弘
		経済史研究A・B	武井 章弘
	経済政策	経済政策論研究A・B	和田 聡子

研究科	区分	専攻科目	担当教員
国際学	国際関係	国際政治・安全保障研究Ⅰ・Ⅱ	真山 全
		国際開発援助研究Ⅰ・Ⅱ	鴻巣 玲子
	地域研究	アジア地域研究Ⅰ・Ⅱ	広野 好彦
		インド・太平洋研究Ⅰ・Ⅱ	鴻巣 玲子
	文化研究	日本文化研究Ⅰ・Ⅱ	河上 繁樹
		比較文化研究Ⅰ・Ⅱ	森田 健司
		環境文化研究Ⅰ・Ⅱ	三輪 信哉
言語文化研究Ⅰ・Ⅱ		吉村あき子	

研究科	区分	専攻科目	担当教員
法学	総合基本法群 科目	民法研究Ⅲ(不動産取引法)	林 邦彦
		民法研究Ⅳ(各種契約論)	松川 正毅
		商法研究	新井 修司
		会社法研究	志谷 匡史
		憲法研究	井上 典之
		行政法研究	湯川 二郎
		刑法研究	全 理其

研究科	区分	専攻科目	担当教員
コンピュータサイエンス	コンピュータシステム	高信頼化VLSI設計A・B	沼 昌宏
		システム CAD A・B	寺井 正幸
		ソフトウェア開発論A・B	葛原 正明
	インテリジェントシステム	ネットワークアプリケーションA・B	須永 宏
		情報システムA・B	牧野 博之
		人工知能(AI)A・B	上原 邦昭

6. 試験時間・試験科目

〔商学研究科〕

試験種別	試験時間	試験科目	備考
一般選抜	10:00～12:00	論文(「会計学」・「商学」・「経営学」・「英語」の4科目から2科目選択) [ただし、1科目は志望する専修科目に応じた受験科目(注参照)を選択すること]	「英語」については、辞書1冊のみ持込み可。ただし、辞書・計算機能付きの電子手帳等は認めない。
	13:00～	面接試験(※)	
社会人特別選抜	10:00～11:00	小論文(専修志望科目の論文)	
	11:30～	面接試験(※)	
外国人留学生	10:00～11:00	小論文(日本語能力を主に問う)	
	11:30～	面接試験(※)	

(注)一般選抜の「論文」においては、次のとおり志望する専修科目に応じた受験科目を選択しなければならない。

専修科目	受験科目
マーケティング論研究	商学
経営学研究	経営学
人的資源論研究	
簿記原理研究	会計学
財務諸表論研究	
管理会計論研究	

〔経済学研究科〕

試験種別	試験時間	試験科目	備考
一般選抜	11:00～12:00	論文(「専修志望科目」および「英語」の中から出願時に1科目を選択) [出願時に申請した受験科目を変更することはできない]	「英語」については、辞書1冊のみ持込み可。ただし、経済用語辞書、辞書・計算機能付きの電子手帳等は認めない。
	13:00～	口述試験(※)	
社会人特別選抜	9:00～10:00	小論文(文章作成能力を主に問う)	
	10:30～	口述試験(※)	
外国人留学生	9:00～10:00	小論文(日本語能力を主に問う)	
	10:30～	口述試験(※)	

〔国際学研究科〕

試験種別	試験時間	試験科目	備考
一般選抜	10:00～12:00	①「専攻志望科目の論文」 ②「英語」	「英語」については、辞書1冊のみ持込み可。ただし、電子辞書は認めない。
	13:00～	面接試験(※)	
社会人特別選抜	10:00～11:00	小論文	
	11:30～	面接試験(※)	
外国人留学生	10:00～11:00	小論文(日本語能力を主に問う)	
	11:30～	面接試験(※)	

〔法学研究科〕

試験種別	試験時間	試験科目	備考
一般選抜	11:00～12:00	論文(「憲法」・「民法」・「刑法」・「商法」・「租税法」・「英語」の中から出願時に1科目を選択) 〔出願時に申請した受験科目を変更することはできない〕	①六法全書(判例・注釈付きを除く)の持込み可。 ②「英語」については、辞書1冊のみ持込み可。
	13:00～	口述試験(※)	
社会人特別選抜	9:00～10:00	小論文	
	10:30～	口述試験(※)	
外国人留学生	9:00～10:00	小論文(日本語能力を主に問う)	
	10:30～	口述試験(※)	

〔コンピュータサイエンス研究科〕

試験種別	試験時間	試験科目	備考
一般選抜	10:00～12:00	①「コンピュータアーキテクチャ」 ②「プログラミング」	
	13:00～	面接試験(※)	
外国人留学生	10:00～11:00	小論文(日本語能力を主に問う)	
	11:30～	面接試験(※)	

※〔全研究科共通〕

面接試験および口述試験は、一人あたり15分間程度での実施を予定しています。

7. 受験上の注意

- (1) 受験者は、試験開始30分前までに試験場に集合してください。
- (2) 受験番号が貼付されている席に着き、受験票は机上番号札の手前に置いてください。
- (3) 受験票(本大学院所定のもの)を忘れた場合は、直ちに大学院教務事務室に届け出て受験票の再発行を受けてください。
- (4) 試験開始後、30分を経過すると受験できません。
- (5) 筆記用具(自由)、その他許可されたもの以外は机の上に置かないでください。
- (6) 問題用紙・解答用紙は、一切持ち帰ることはできません。
- (7) 試験開始後、45分以上経過しなければ退場できません。
- (8) 車での来学は禁止します。公共交通機関をご利用ください。
- (9) 昼食が必要な場合は、各自で用意してください。
- (10) 台風等の天災や感染症の流行等により、当初の予定どおり入学試験が実施できず変更が生じる場合は、受験生への連絡は本大学院ホームページにて行います。
- (11) その他、不明な点は大学院教務事務室まで問い合わせてください。

8. 身体の機能に障がいがある場合の受験

受験の際の特別措置や、入学後の学修に特段の配慮を必要とする志願者は、出願までに、必ず大学院教務事務室までお問い合わせください。

また、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたすおそれがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合は、速やかにお問い合わせください。

9. 感染症(新型コロナウイルスやインフルエンザ等)の対応について

各入学者選抜試験において、感染症(新型コロナウイルスやインフルエンザ等)に罹患、治癒していない者で、当初受験予定であった入学者選抜試験を受験できなかった者に対しては、医師からの診断書等の提出を以て振替試験または追試験で対応します。

必ず試験開始時刻までに大学院教務事務室まで電話にてご連絡のうえ、受験をご遠慮ください。無連絡または試験開始後の連絡の場合は、欠席扱いとなり、入学検定料の返還や振替は行いません。詳しくは事前に大学院教務事務室までお問い合わせください。

1. 出願資格

(1) 一般選抜

- ① 修士の学位を有する者、または2026年9月修士の学位取得見込みの者。
 - ② 外国において、修士の学位またはこれに相当する学位を授与された者。
 - ③ その他本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。
(出願資格の認定審査を希望する者は、出願期間開始日の4週間前までに大学院教務事務室へ申し出て
ください。)
- 以上のいずれかに該当する者。

(2) 社会人特別選抜〔経済学研究科〕

企業、官公庁および教育・研究機関等において2年以上の職業経験等のある者で、以下のいずれかに該当する者。

- ① 修士の学位を取得している者。
- ② 2026年9月修士学位の取得見込みの者。
- ③ 修士学位の取得者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者。
(出願資格の認定審査を希望する者は、出願期間開始日の4週間前までに大学院教務事務室へ申し出て
ください。)

(3) 社会人特別選抜〔法学研究科〕

- ① 法曹資格を有する者。
 - ② 弁理士、公認会計士、税理士、司法書士、不動産鑑定士またはこれらに準ずる資格を有し、かつ修士の学位を取得している者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者。
 - ③ 企業、官公庁および教育・研究機関等において5年以上勤務している者で、修士の学位を取得している者または取得見込みの者。
- 以上のいずれかに該当する者。

(4) 外国人留学生

外国人で、次のいずれかに該当し、入学に際して「出入国管理および難民認定法」に定める「留学」の在留資格を取得または更新できる者。

- ① 外国において、修士の学位に相当する学位を取得または取得見込みであること。
 - ② 日本の大学において、外国人留学生として修士の学位を取得または取得見込みであること。
- (注) 大学院の授業は原則として日本語で行われますので、留学生には大学院の授業を理解できる高度な日本語能力が求められます。それを示す資料として、出願時に次のいずれかの日本語試験結果を提出してください。提出された試験の成績は選考の対象となります。
- ア. 日本語能力試験(N1):「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」
イ. 日本留学試験(日本語):「日本留学試験成績に関する証明書」

2. 出願上の注意

- (1) 出願書類は本大学院所定の出願用封筒に入れて、**書留速達で郵送**(出願期間最終日の消印有効)するか、または大学院教務事務室に持参してください。
- (2) 提出された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。なお、出願後の変更は一切認めません。
- (3) 出願後に住所・電話番号等を変更した場合は、速やかに大学院教務事務室に連絡してください。

3. 入学検定料

35,000円

- (1) 入学検定料は、すべて**銀行振込(電信扱)**にしてください(郵便普通為替証書、現金による納付は認めません)。
※ATM(現金自動預入払出機)での振り込みはできません。
- (2) 振込用紙は、志願票・入学検定料振込依頼書・入学検定料振込領収書が一枚綴りになっているので、所定事項を記入し、切り離さずに入学検定料を添えて銀行窓口へ提示してください。
- (3) 振り込み後、志願票(取扱銀行収納印のないものは無効)を出願書類とともに郵送してください。
なお、入学検定料振込領収書(取扱銀行収納印のないものは無効)は各自で保管してください。
- (4) 既納の入学検定料は、返還しません。

4. 出願書類

必要事項は全て黒ボールペンで、出願者本人が自筆により記入してください。

No.	出願書類	必要の有無			注意事項
		一般 選抜	社会人 特別選抜	外国人 留学生	
1	入学志願書	○	○	○	本大学院所定用紙。 ① 専修・専攻志望科目欄は、「5. 専修・専攻科目および担当教員」を参照の上、志望研究科で専修または専攻しようとする学科目を選定し記入すること(担当教員が複数の学科目については、第2・第3志望の担当教員も記入すること。なお、入学時に指導体制を勘案し、指導教員を変更する場合があります)。 ② 指導教員欄には専修・専攻志望科目欄に記入した科目の担当教員のみを記入すること。第2・第3志望欄に別の科目の担当教員を記入しないこと。異なる科目の担当教員を記入した場合、第1志望の担当教員についてのみ有効とする。 ③ 写真(注3.参照)を枠内に貼付すること。
2	志願票	○	○	○	本大学院所定用紙。 志願票に写真(注3.参照)を枠内に貼付すること。
3	各種証明書	○	○	○	出願前3か月以内に発行されたもの。 ① 修士を修了した者は、修士の成績証明書および学位授与証明書。 ② 修士を修了見込みの者は、修士の成績・学位取得見込証明書。 ③ 証明書に記載されている氏名が、婚姻等により現在の氏名と異なる場合は、同一人物であることを証明する公的書類(戸籍抄本等)を添付すること。
4	修士論文	○	○	○	修士論文および要旨(3,000字程度)を各3部、他に著書・論文(コピー可)があれば併せて提出すること。修士課程において論文を提出していない場合は、修士論文に代わる研究報告書を提出すること。
5	志望理由書	○	—	○	本大学院所定用紙(記入は出願者の自筆に限る)。
6	研究計画書	—	○	○	本大学院所定用紙(記入は出願者の自筆に限る)。 (外国人留学生は日本語または英語で書かれたもの) ① 記入内容が3ページ以上にわたる場合は、所定用紙の裏面を必要分コピーして記入すること。 ② 担当教員が複数の学科目については、第1志望の指導教員を記入すること。
7	語学試験の結果	—	—	○	次のいずれかの日本語試験の結果を提出。 ① 日本語能力試験(N1) 「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」 ② 日本留学試験(日本語) 「日本留学試験成績に関する証明書」
8	推薦書	△	—	△	最終出身学校において指導を受けた教員またはこれに代わる推薦者による推薦書で、原則として日本語または英語で書かれたもの。
9	履歴書	—	—	○	本大学院所定用紙(記入は出願者の自筆に限る)。
10	パスポート および 在留カードのコピー	—	—	○	パスポートは、本人に関する記載事項のすべての欄、来日歴のある者は日本への出入国歴が記載されている箇所のコピーを提出。在留カードは、表裏両面のコピーを提出。
11	奨学金の 証明書類	—	—	○	国費またはそれに準ずる奨学金の受給が決定している者は、証明書のコピー(該当者のみ)。

(注)1. 「必要の有無」欄の○は必ず提出するものを示し、△は任意提出資料を示す。

2. 「健康診断書」を提出する必要はないが、場合により提出を求められることがある。

3. 写真:上半身正面脱帽、背景なし、縦4cm・横3cm、出願前3か月以内に撮影したものとし、裏面に氏名を記入すること。

5. 専修・専攻科目および担当教員

博士課程では、研究指導が可能な次の学科目のうちから、専修もしくは専攻科目を選定しなければなりません。各研究科における専修・専攻科目は以下のとおりです。

担当教員が複数の学科目(*)については、「入学志願書」に研究指導を希望する教員名を希望順に記入してください。

また、履修規程、シラバス等については、本学ホームページ (<https://www.ogu.ac.jp/graduateschool/>) を参照してください。

研究科	区分	専修科目	担当教員
商学	商学・経営学	マーケティング論特殊研究	杉本 徹雄
		経営学特殊研究	太田 雅晴
		人的資源論特殊研究	テイラー雅子
	会計学	財務諸表論特殊研究	大下 勇二
		簿記原理特殊研究	辻 峰男
		管理会計論特殊研究	山本 浩二

研究科	専修科目	担当教員
経済学	ミクロ経済理論特殊研究	宇佐美竜一
	マクロ経済理論特殊研究	荒井 信幸
	計量経済学特殊研究	塩谷 雅弘
	経済史特殊研究	武井 章弘
	経済政策論特殊研究	和田 聡子

研究科	区分	専修科目	担当教員
国際学	国際関係	国際政治・安全保障特殊研究	真山 全
		国際開発援助特殊研究	鴻巣 玲子
	地域研究	アジア地域特殊研究	広野 好彦
		インド・太平洋特殊研究	鴻巣 玲子
	文化研究	日本文化特殊研究	河上 繁樹
		多文化共生特殊研究	森田 健司
		環境文化特殊研究	三輪 信哉
		言語文化特殊研究	吉村あき子

研究科	区分	専攻科目	担当教員
法学	総合基本法群	民事法務特殊研究Ⅱ	松川 正毅
		商事法務特殊研究Ⅰ	新井 修司
		商事法務特殊研究Ⅱ	志谷 匡史
		政策法務特殊研究Ⅰ	湯川 二郎
		政策法務特殊研究Ⅱ	井上 典之
		刑事法務特殊研究Ⅰ・Ⅱ	全 理其
		税務専門職群	*租税法特殊研究Ⅰ・Ⅱ
	谷口勢津夫		
	前田 謙二		

(注) 担当教員が複数の学科目(*)については、「入学志願書」に研究指導を希望する教員名を希望順に記入すること。

6. 試験時間・試験科目

〔商学研究科〕

試験種別	試験時間	試験科目	備考
一般選抜	10:00～11:30	論文(専修志望科目の論文)	
	13:00～14:30	英語	辞書持込みは不可。
	15:00～	面接試験(※)	
外国人留学生	10:00～11:00	小論文(日本語能力を主に問う)	
	11:30～	面接試験(※)	

〔経済学研究科〕

試験種別	試験時間	試験科目	備考
一般選抜	10:00～11:30	英語	辞書1冊のみ持込み可。ただし、経済用語辞書、辞書・計算機能付きの電子手帳等は認めない。
	13:00～	口述試験(※)	
社会人特別選抜	10:00～	口述試験(※)	
外国人留学生	10:00～11:00	小論文(日本語能力を主に問う)	
	11:30～	口述試験(※)	

〔国際学研究科〕

試験種別	試験時間	試験科目	備考
一般選抜	10:00～11:30	英語	辞書等の持込みは一切不可。
	13:00～	面接試験(※)	
外国人留学生	10:00～11:00	小論文(日本語能力を主に問う)	
	11:30～	面接試験(※)	

〔法学研究科〕

試験種別	試験時間	試験科目	備考
一般選抜	10:00～11:30	英語	辞書の持込み可。
	13:00～	口述試験(※)	
社会人特別選抜	10:00～	口述試験(※)	
外国人留学生	10:00～11:00	小論文(日本語能力を主に問う)	
	11:30～	口述試験(※)	

※〔全研究科共通〕

面接試験および口述試験は、一人あたり20分間程度での実施を予定しています。

7. 受験上の注意

- (1) 受験者は、試験開始30分前までに試験場に集合してください。
- (2) 受験番号が貼付されている席に着き、受験票は机上番号札の手前に置いてください。
- (3) 受験票(本大学院所定のもの)を忘れた場合は、直ちに大学院教務事務室に届け出て受験票の再発行を受けてください。
- (4) 試験開始後、30分を経過すると受験できません。
- (5) 筆記用具(自由)、その他許可されたもの以外は机の上に置かないでください。
- (6) 問題用紙・解答用紙は、一切持ち帰ることはできません。
- (7) 試験開始後、45分以上経過しなければ退場できません。
- (8) 車での来学は禁止します。公共交通機関をご利用ください。
- (9) 昼食が必要な場合は、各自で用意してください。
- (10) 台風等の天災や感染症の流行等により、当初の予定どおり入学試験が実施できず変更が生じる場合は、受験生への連絡は本大学院ホームページにて行います。
- (11) その他、不明な点は大学院教務事務室まで問い合わせてください。

8. 身体の機能に障がいがある場合の受験

受験の際の特別措置や、入学後の学修に特段の配慮を必要とする志願者は、出願までに、必ず大学院教務事務室までお問い合わせください。

また、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたすおそれがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合は、速やかにお問い合わせください。

9. 感染症(新型コロナウイルスやインフルエンザ等)の対応について

各入学者選抜試験において、感染症(新型コロナウイルスやインフルエンザ等)に罹患、治癒していない者で、当初受験予定であった入学者選抜試験を受験できなかった者に対しては、医師からの診断書等の提出を以て追試験で対応します。

必ず試験開始時刻までに大学院教務事務室まで電話にてご連絡のうえ、受験をご遠慮ください。無連絡または試験開始後の連絡の場合は、欠席扱いとなり、入学検定料の返還や振替は行いません。詳しくは事前に大学院教務事務室までお問い合わせください。

1. 学 費

2026年度の学費は次のとおりです。

なお、修了予定年次に修了記念事業費（現行 20,000円）、および入学後に学生保険の加入費用（現行 修士課程 2,430円、博士課程 3,620円）が別途必要となります。

(1) 修士課程

〔商学・経済学・国際学・法学研究科〕

区 分	初年度		2年度
	春学期	秋学期	
入 学 金	305,000	—	—
授 業 料	338,000	338,000	676,000
施設設備費	103,000	103,000	206,000
計	746,000	441,000	882,000

〔コンピュータサイエンス研究科〕

区 分	初年度		2年度
	春学期	秋学期	
入 学 金	305,000	—	—
授 業 料	388,000	388,000	776,000
施設設備費	103,000	103,000	206,000
計	796,000	491,000	982,000

(2) 博士課程

区 分	初年度		2年度以降
	春学期	秋学期	
入 学 金	330,000	—	—
授 業 料	397,000	397,000	794,000
施設設備費	114,000	114,000	228,000
計	841,000	511,000	1,022,000

2. 奨学金制度

本学では、学業成績・人物ともに優秀であり、健康にして将来有為な人材となる見込みのある者に対し、奨学金の給付制度があります。

その他、独立行政法人日本学生支援機構等の奨学金制度もあります。

詳細は、大学院教務事務室まで問い合わせてください。

3. 教育訓練給付制度（一般教育訓練）について（法学研究科 修士課程のみ対象）

法学研究科 企業・自治体法務専攻は、厚生労働省による一般教育訓練給付金の対象となる講座指定を受けています。

教育訓練講座名称	指定番号	指定期間
法学研究科 企業・自治体法務専攻 修士課程	2722012-2410012-5	令和6年4月1日～令和9年3月31日

この制度は、修了後学生本人がハローワークへ申請することで、雇用保険の被保険者期間（3年以上）により、教育訓練経費（入学金と初年度授業料）の20%（上限額10万円）の教育訓練給付金が支給されるものです。申請は修了日（基本的に修了証書の授与日）の翌日から起算して1ヶ月以内です。

入学前に手続きすることはありません。また、修了しない場合は申請できません。本制度は、厚生労働省の施策です。

支給要件、講座等の詳細につきましては、下記ハローワークHPよりご確認ください。

https://www.hellowork.mhlw.go.jp/insurance/insurance_education.html

4. 入学手続内容・方法

入学手続の方法は次のとおりです。

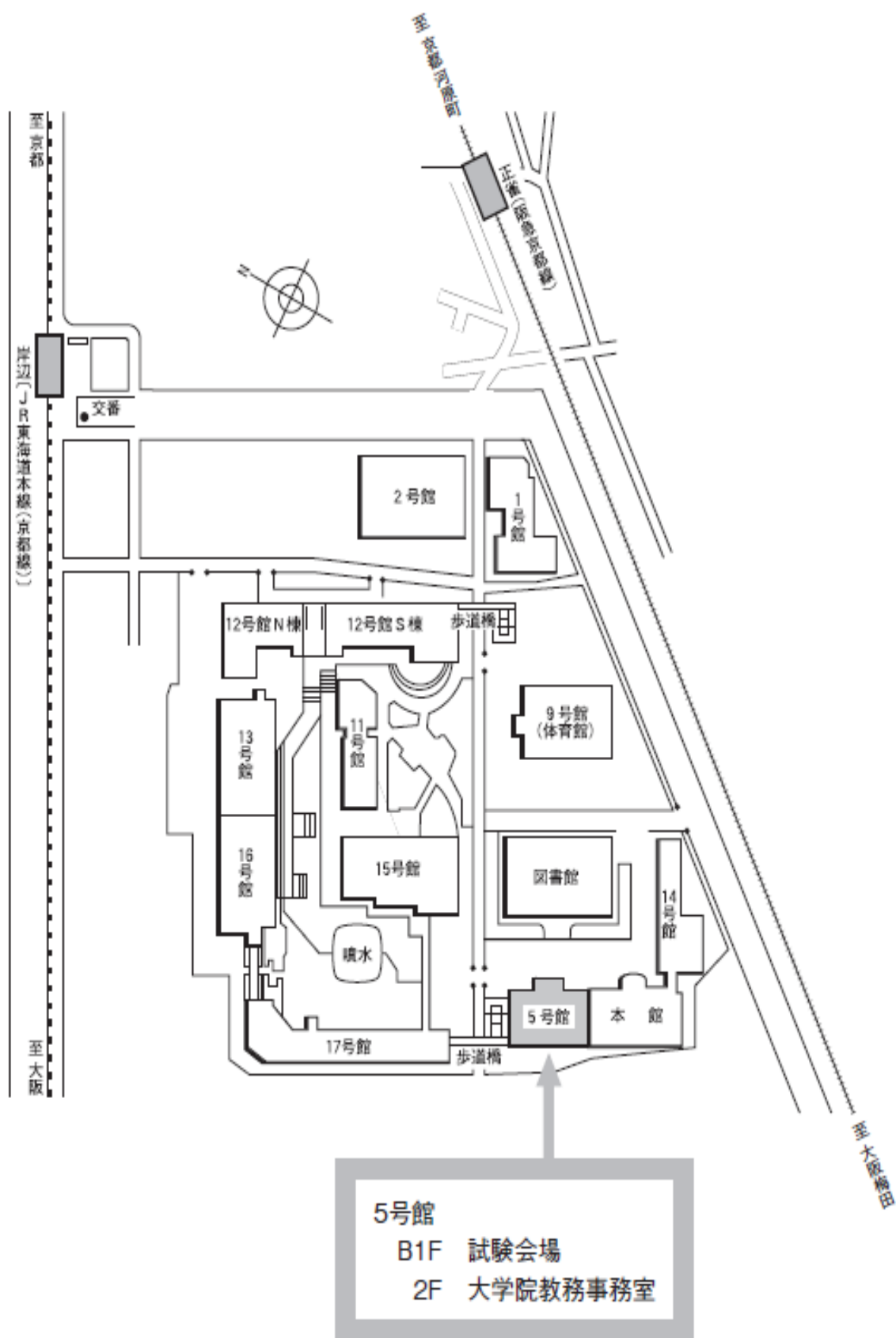
詳細については、合格通知に同封する「入学手続について」を参照してください。

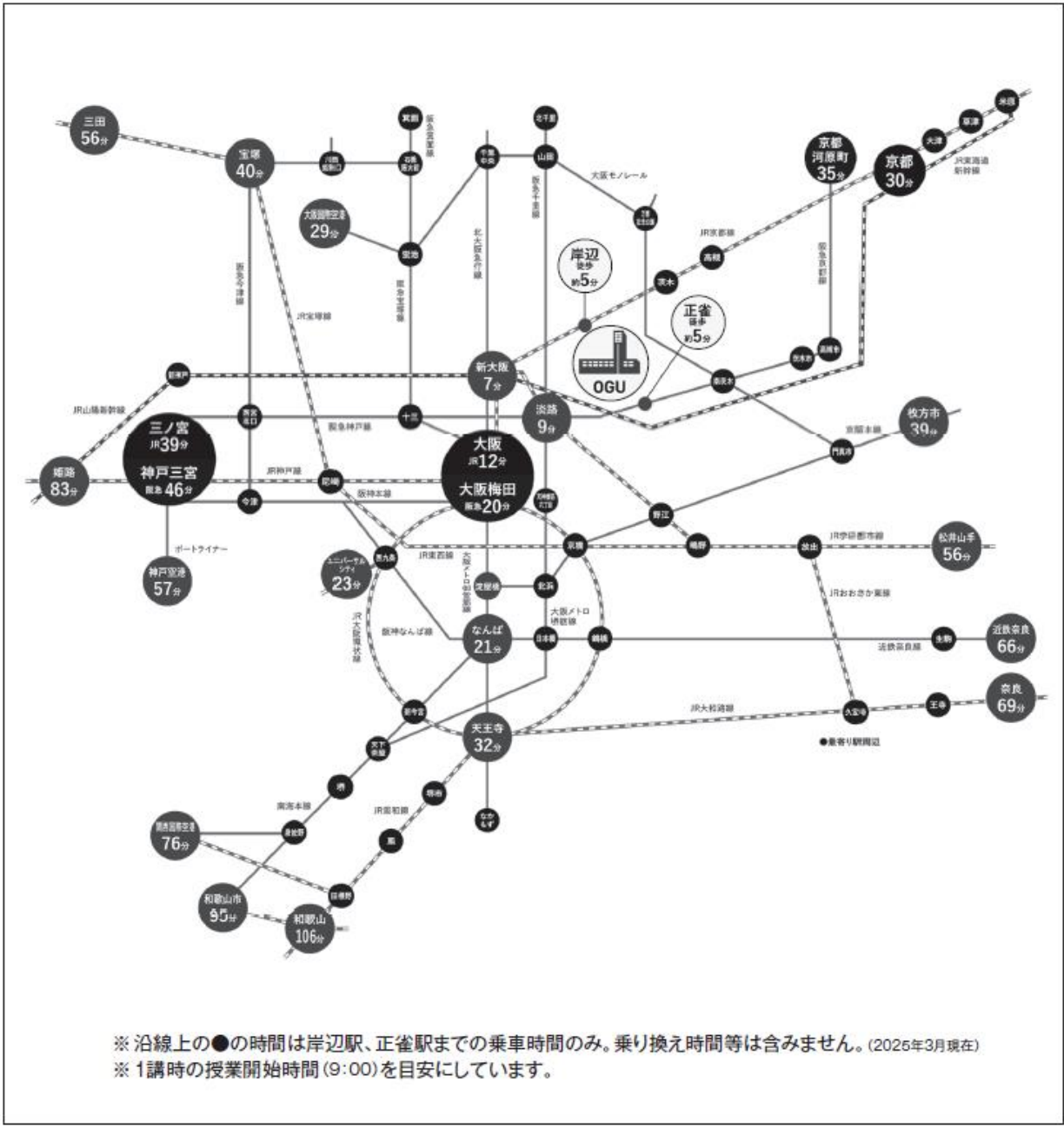
入学手続内容		必要の有無			注 意 事 項
		一般 選 抜	社会人 特別選抜	外国人 留 学 生	
1次	入 学 金	○	○	○	
2次	入学金を除く学費等	○	○	○	
	誓 約 書	○	○	○	
	新 入 生 入 力 票	○	○	○	
	住 民 票 (本籍地及びマイナンバー記載のないもの)	○	○	○	各市(区)町村で発行された入学予定者本人のもの。 (コピー不可)
	大 学 卒 業 証 明 書 ・ 大 学 最 終 成 績 証 明 書	○	○	○	大学卒業見込者のみ提出。
	修 士 学 位 授 与 証 明 書 ・ 大 学 院 最 終 成 績 証 明 書	○	○	○	大学院修士課程修了見込者のみ提出。
	「パスポート・在留カード」 または「特別永住者証 明書」のコピー(両面)	—	—	○	外国の国籍を有する者のみ提出。
勤 務 等 経 験 証 明 書	—	○	—	社会人特別選抜合格者のみ提出。ただし、法学研究 科博士課程に入学予定の者は、下記「2年」を「5 年」に読み替えて提出のこと。 1. 企業等に勤務した経験を有する者は、以下①～ ③のうちいずれか1点 ① 在職証明書(2年以上の在職期間が記されてい るもの) ② 健康保険証(写) ③ 源泉徴収票(写・2年分) 2. 自営した経験を有する者は、所得証明書(2年 分)等、自営した経験を証明する書類	

5. 入学辞退

2026年度の入学手続が完了した後に、入学を辞退する場合は、2026年9月30日(水)午後5時までに所定の手続きをすれば、入学金を除く学費を返還します。

大阪学院大学構内案内図





大阪学院大学 大学院教務事務室

〒564-8511 大阪府吹田市岸部南二丁目36番1号

☎ 06-6381-8434(代表)

URL <https://www.ogu.ac.jp/graduateschool/>